【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【公開番号】特開2005-209583(P2005-209583A)
【公開日】平成17年8月4日(2005.8.4)
【年通号数】公開・登録公報2005-030
【出願番号】特願2004-17321(P2004-17321)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｂ　33/22　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　51/50　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｂ　33/22　Ｚ
Ｈ０５Ｂ　33/14　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年1月16日(2007.1.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
基板上に形成された第１の絶縁層を有し、
前記第１の絶縁層には前記基板に達する開口部が形成されており、
前記開口部を覆って第２の絶縁層が形成されており、
前記第２の絶縁層上には前記開口部の少なくとも一部に重なって発光素子が設けられていることを特徴とする発光装置。
【請求項２】
基板と、
前記基板上に形成された第１の絶縁層と
前記絶縁層上に形成された半導体層と、
前記半導体層を覆って形成されたゲート絶縁層と、
前記半導体層及び前記ゲート絶縁層上に形成されたゲート電極とを有し、
前記ゲート絶縁層には前記第１の絶縁層を貫通し、前記基板まで達する開口部が設けられており、
前記ゲート絶縁層、前記ゲート電極及び前記開口部を覆って第２の絶縁層が形成されており、
前記第２の絶縁層上には前記開口部の少なくとも一部に重なって発光素子が設けられていることを特徴とする発光装置。
【請求項３】
請求項１または請求項２において、
前記第１の絶縁層及び前記第２の絶縁層は単層構造であることを特徴とする発光装置。
【請求項４】
請求項１または請求項２において、
前記第１の絶縁層又は／及び前記第２の絶縁層は多層構造であることを特徴とする発光装置。
【請求項５】
請求項１乃至請求項３のいずれか一項において、

前記発光素子は第１の電極と発光層と第２の電極を有しており、
前記第１の電極が前記第２の電極より前記基板側に形成されており、
前記第２の絶縁層は前記第１の電極の屈折率と前記基板の屈折率の間の屈折率を有していることを特徴とする発光装置。
【請求項６】
請求項１乃至請求項４のいずれか一項において、
前記発光素子は第１の電極と発光層と第２の電極を有しており、
前記第１の電極が前記第２の電極より前記基板側に形成されており、前記開口部における前記第１の電極から前記基板までの間に存在するそれぞれの層が有する屈折率は前記基板側に近いほど小さいことを特徴とする発光装置。
【請求項７】
請求項１乃至請求項４のいずれか一項において、
前記発光素子は第１の電極と発光層と第２の電極を有しており、
前記第１の電極が前記第２の電極より前記基板側に形成されており、前記開口部における前記第１の電極から前記基板までの間に存在するそれぞれの層が有する屈折率は前記基板側に近いほど小さいことを特徴とする発光装置。